

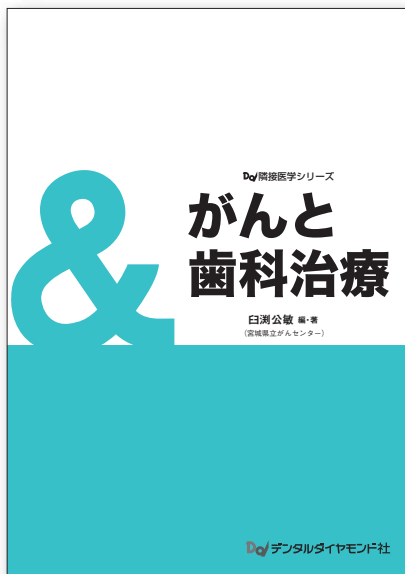
D_Q隣接医学シリーズ

がんと歯科治療

New

【編・著】白淵公敏（宮城県立がんセンター）

がん患者の口腔管理は「よくある診療」になった!



がん治療では「がんは全身病としてのアプローチが大切」という概念に基づいた多職種チーム医療が必須であり、より高度な知識と技術が各職種に求められる。本書は、歯科医療従事者ががん患者にかかわるときに必要な全体的事項や各がんの病態・治療に関する詳細な解説書である。「基礎編：臨床腫瘍学のミニマム・エッセンス」では各種がんの最新の標準治療とその関連事項を、「歯科編：がん患者の口腔機能管理」ではがん患者のさまざまな場面における口腔管理について解説。長寿社会の歯科医療従事者に必携の書。

A5判・264頁・オールカラー 本体6,500円+税



CONTENTS▼

基礎編 臨床腫瘍学のミニマム・エッセンス

1. がんとは
2. チーム医療とは
3. がんの治療法
 - ①外科療法 ②放射線療法 ③化学療法 他
4. 精神腫瘍学（サイコオンコロジー）
5. がん患者の全身状態の評価
6. おもながんの標準治療
 - ①肺がん ②胃がん ③肝がん ④大腸がん ⑤乳がん
 - ⑥泌尿器がん（前立腺がん） ⑦泌尿器がん（膀胱がん） 他
7. 緩和医療
8. がん患者を診る前に知っておきたい基礎知識
 - ①臨床検査値 ②看護で用いられる口腔アセスメント
9. がん治療で汎用される薬剤

歯科編 がん患者の口腔機能管理

1. がん治療における口腔ケア・口腔機能管理の必要性
 - 口腔ケアのエビデンス
2. がん治療で起こる口腔トラブル
3. がん全身麻酔手術患者の口腔管理・口腔ケア
4. がん化学療法患者の口腔管理・口腔ケア
 - ①がん化学療法による口腔粘膜炎 他
5. 頭頸部がん放射線治療患者の口腔管理・口腔ケア
 - ①放射線治療による口腔合併症 他
6. 薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）
7. 緩和医療・終末期における口腔ケア
8. 口腔がんと口腔に転移した腫瘍
9. 周術期口腔機能管理
 - ①周術期口腔機能管理新設の背景 他